



オープンアクセス（OA）って何？

オープンアクセスの基礎知識 1

オープンアクセスとは

研究成果をまとめた論文やデータをインターネット上に無料で公開し、誰もが自由に利用できるようにすること

学術研究の発展のために、世界的に公的な研究助成機関の多くが研究成果のオープンアクセス化を義務化・推奨しています。

オープンアクセス化が進むと……

- ① 自分の研究成果を広く知ってもらえる
オープンアクセス論文は非オープンアクセス論文より被引用数が 2.5 ～ 5.8 倍になったという報告もあります。
- ② 新たな研究の可能性が生まれる



千葉大学オープンアクセス方針

オープンアクセス方針とは、自国・自機関の研究成果をどうオープンアクセス化していくかを定めた方針のことです。

本学では 2016 年に「千葉大学オープンアクセス方針」を策定し、学内の研究成果のオープンアクセス化を推進しています。

千葉大学オープンアクセス方針についてさらに詳しく



ハゲタカジャーナルに注意！

ハゲタカジャーナルとは

著者から論文掲載料（APC）を騙し取ることを目的としている、オープンアクセスジャーナルの仕組みを悪用した悪質な雑誌のこと

ハゲタカジャーナルに投稿してしまうと……

- 研究コミュニティ内での自身の信頼・評価が低下する
- 不当に高額な論文掲載料を請求される
- 論文を投稿した後にハゲタカジャーナルであることに気づいても論文の撤回が認められず、他のジャーナルへの再投稿ができなくなる

ジャーナルの安全性を判断するために役立つリスト

ホワイトリスト

- **Directory of Open Access Journals (DOAJ)**
厳しい審査を通過した、安全性の高いオープンアクセスジャーナルのデータベース
- **Quality Open Access Market (QOAM)**
オープンアクセスジャーナルの論文掲載料（APC）や品質に関する情報を掲載

健全性チェックリスト

- **Think. Check. Submit.**
投稿予定のジャーナルが信用に値するかをチェックするためのリスト

ハゲタカジャーナルについてさらに詳しく



オープンアクセスの基礎知識 2

オープンアクセス化する方法には、主に 2 つの種類があります。

グリーンオープンアクセス

学術雑誌などに掲載済みの研究成果を、研究者自身が機関リポジトリや研究室のサイト等から公開する方法

ただし出版社によっては、著者最終稿のみ公開可能などの条件があるほか、一定の非公開期間（エンバーゴ期間）が設けられる場合があります。

グリーンオープンアクセスのメリット

- 研究成果を無料でオープンアクセス化できる

ゴールドオープンアクセス

論文掲載料（APC）を支払って、オープンアクセスジャーナルに研究成果を投稿し、出版社のサイトから公開する方法

② オープンアクセスジャーナルとは

全てあるいは一部の論文を無料公開しており、インターネット上で誰でも読むことのできる雑誌

ゴールドオープンアクセスのメリット

- 掲載雑誌の出版と同時にオープンアクセス化できる

論文掲載料（APC=Article Processing Charge）

論文をオープンアクセスとして出版するための費用です。ジャーナルによって価格は異なり、高額になる場合もあります。

千葉大学学術成果リポジトリ CURATOR

千葉大学学術成果リポジトリ CURATOR とは

千葉大学の知的生産物を蓄積・保存・公開する機関リポジトリです。年間約 1,500 件の研究成果にメタデータや DOI（研究データや論文に用いられる識別子）を付与し、公開しています。

公開できる研究成果物の種類

千葉大学に在籍する、または在籍したことのある教職員及び大学院生であれば、誰でも研究成果を登録・公開することができます。

- 紀要雑誌（論文その他の記事、表紙、目次など）
- 学術雑誌に掲載された論文
- 博士論文
- 研究報告書
- 学会等での発表資料
- テクニカルレポート
- モノグラフ
- 研究データ（データセット、画像など）
- 学内部局の年報などの発行物

公開するには

CURATOR のトップページからログインをして、ご自身で登録をお願いいたします。附属図書館リポジトリ担当が最終確認を行い、公開します。

グリーンオープンアクセスのために、ぜひご活用ください。

CURATOR について



登録方法について

